

# 参考資料

---

- 平成28年3月30日、明日の日本を支える観光ビジョン構想会議（議長：内閣総理大臣）において、「明日の日本を支える観光ビジョン」が決定。
- 主要施策の一つとして、魅力ある公的施設・インフラの公開拡充が盛り込まれ、「観光戦略実行推進タスクフォース（現：観光戦略実行推進会議）」を中心に検討が行われている。

## 1. 公的施設

「魅力ある公的施設」を、ひろく国民、そして世界に開放

－「技」の粋がつくされた日本ならではの空間を世界に－



### 赤坂迎賓館

2016年4月19日から一般公開を  
通年で実施。



### 京都迎賓館

2016年4月28日～5月9日に試験  
公開を実施した上で、7月下旬を  
目途に一般公開を通年で実施予定。

### ホーフブルク王宮（オーストリア）

王宮内は、観光施設として日中見学が可能。一部を  
レセプション会場等の利用向けに、一般開放。



王宮全景



宮殿内

## これまでの取組 ①

- 赤坂迎賓館等、観光ビジョンで掲げる施設で、観光資源として公開・開放の取組が進行。
- 来訪者数は、迎賓館(赤坂・京都)166万人(累計H30.5時点)、皇居東御苑148万人(H29年度)と観光スポットとして定着。

施設名	これまでの主要な取組み	平成30年度の主要な取組み	来訪者数
赤坂迎賓館	一般公開の通年実施(有料)、 ガーデンカフェ、民間への貸出	特別企画・イベント・夜間公開の実施、 フォトガイドブックの制作、カフェ等の施設 整備(迎賓館前の公園)	累計143万人 H29年度58万人
京都迎賓館	一般公開の通年実施(有料)、 体験型参観、民間への貸出	特別企画・イベント・夜間公開の実施、ス マホ用アプリの試験運用	累計23万人 H29年度13万人
首相官邸	特別見学実施(85回)	特別見学実施	H29年度2.6千人
皇居	一般参観の通年実施、乾通りの一般公開 6カ国語ガイダンス	一般参観の通年実施、乾通りの一般公開、 参観ウェブサイトの6カ国語化	H29年11万人
皇居東御苑	一般公開の通年実施、6カ国語ガイダンス	三の丸尚蔵館増築、収藏品公開拡充	H29年148万人
京都御所	一般公開の通年実施、6カ国語ガイダンス	参観ウェブサイトの6カ国語化、 紫宸殿廻り回廊整備	H29年度70万人
仙洞御所・桂離宮・ 修学院離宮	通年で参観を実施、6カ国語ガイダンス	参観ウェブサイトの6カ国語化、 桂離宮はガイドツアーの回数定員を拡 充・外国語ツアーを拡充	H29年度 仙洞御所:5.4万人 桂離宮:5.5万人 修学院離宮:4.5万人
御料牧場	地元外も含めた見学会実施(年4回)	見学会の実施(年4回)と展示の充実	H29年度:40名×4回
鴨場	地元外からの見学会実施(年11回)	地元外からの見学会実施(年12回)	(埼玉・新浜) H29年度:30名×11回
信任状捧呈式に係る馬車列	原則1週間前の広報(可能な場合前倒し)	原則1週間前の広報(可能な場合前倒し)	－
造幣局本局	工場見学の当日受付、 事前予約制を両方実施	スマホ等による外国語対応の充実	H29年度12万人
首都圏外郭放水路	見学会を拡充(土曜日2回増、定員倍増)、 トイレ整備	見学会拡充に向けた社会実験を民間と 連携して実施	H29年度2万人
大本営地下壕	見学できるための所要の整備を実施	見学できるための所要の整備を実施	※工事中
日本銀行	見学会の当日受付、多言語案内を充実	見学会の当日受付、多言語案内を充実	H29年度13万人 <sup>1</sup>

- 観光ビジョン施設以外でも公開・開放に取り組んでおり、全国で950超の施設が公開・開放。
- これらの中には、有料化など新しい公開・開放に取り組んでいる施設も出てきている。

## ～ニーズに応じた無料・有料のサービス提供～

### JAXA筑波宇宙センター

- 無料の展示館(スペースドーム等)と施設の一部をガイド付きで見学する有料ツアーを設定し、幅広い来訪者ニーズをとらえている。

※年間来場者数は28万人(平成28年度)  
※「きぼう」運用管制室、宇宙飛行士訓練施設等、料金500円



展示館「スペースドーム」



H-II ロケット実機展示



「きぼう」運用管制室



宇宙飛行士訓練施設

## ～地域と連携して観光資源として活用～

### ハツ場ダム

- ダムが完成する前から、工事現場も含めダムの魅力を観光資源として活用した地域振興を進め、多くの観光客が来訪している。



「ダムカード」が人気



地元による特産品開発が多数



コンシェルジュによる現場見学



日々変化する工事現場

## ～民間と連携した公的施設の有効活用～

### 東京国立博物館

- 通常開館の他に、プレミアムな解説付き夜間貸切鑑賞等を実施
- ユニークベニューとして企業等へ有料貸出



## 公開・開放を拡充する必要性 ～地域に貢献するには、質・量ともに力不足～

- 年間来訪者数が20万人以上のものが25施設、1万人以上のものが200施設。
- 観光資源として地域への誘客、満足度向上に貢献しているものは、まだ少数。

## 公開・開放の拡充における3つの課題

旅行会社ヒアリング、旅行サイト口コミ等から課題を抽出

### プロモーション

#### ～観光資源として認識されていない～

- 来訪者が相当数あるものの、観光媒体で取り上げられていない、あるいは、見つけることが困難な公的施設・インフラが多い。
- 8割程度の施設・インフラ※は、観光媒体（じゃらん）の都道府県別の観光スポットランキングの圏外。

※重点施設・インフラ100程度を母数

### 公開方法

#### ～公開日などが来訪者ニーズにあっていない～

<公的施設に関する口コミ>

- ・休日に見学しようと思い訪れたのですが、なんと土日・祝祭日休館。平日の開館時間も10:00-17:00とおよそ普通の勤め人が行けない時間帯です。(研究所)
- ・残念ながら日曜日だけの開館で、かつ事前申し込みが必要とのことでした。なので門越しの遠望のみです。(自衛隊施設)

### コンテンツ

#### ～専門的で難解、魅力的な展示がなされていない～

<公的施設に関する口コミ>

- ・それなりの知識があれば、それなりに楽しめるが、工学分野に関しては、「それなり」の水準が高いと思っていた方がいい。嘘や方便はないだろうが、説明文書に漢字がとても多くもう少し平易な文章をよう書かんのか？とは思う。(大学)
- ・常設展自体は文字が多く楽しくありません (研究所)
- ・大変面白い展示室ですが、もう少しサービス精神をもって説明やレイアウトをしてほしかったです。例えば、「これが現実の××作戦だ」といった緊迫感のあるコンセプト展示や、逆に小学生にもわかるように徹底的に易しく施設の機能を表現するとか。まだまだ固いですよ～もっと人気ができますよ～ああもったいない! (CIQ施設)
- ・アピールしている食堂の復元室は、多くの資料展示棚が並べられていて、大食堂の雰囲気を感じられなかった。(旧庁舎)

## 基本方針

### 1. プロモーション、コンテンツ、公開方法について、**来訪者目線で満足度向上を図る**

受入側が見せたいものを見せるだけでなく、来訪者の目線で見せるもの、見せ方を改善して、来訪者の満足度を向上する。

### 2. これを実現するべく、3つの新しい手法を導入

#### 手法①：民間の活用

来訪者ニーズを把握している民間の視点を活用することで、公的施設・インフラの新たな魅力を引き出すことが出来る。

- 第二海堡において、旅行会社等を招いて現場見学会を実施。
- 「見せる価値が低い」と考えられていた施設・インフラでも、旅行会社の視点では「旅行商品になる」との評価。



旅行会社等と現場見学会 (2018. 3)

#### 手法②：地域との連携

地域と連携した公開・開放により、公的施設・インフラの楽しみ方が広がる。  
地域全体の魅力向上、活性化にもつながる。

- ダム湖でのボートツーリングをNPO法人最上川リバーツーリズムネットワーク※が運営
- ※最上川沿いの民間団体をつなぎ、地域の活性化に結び付けることを目的に発足した団体

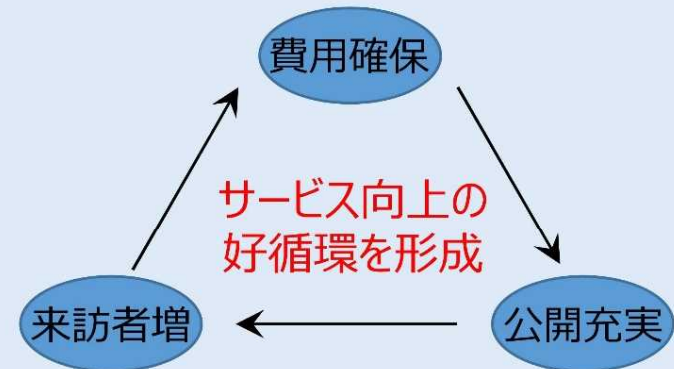


長井ダム

#### 手法③：来訪者の費用負担

有料化することで来訪者が求める特別なサービスを提供することができ、満足度向上につながる。

#### 自立的な拡充サイクル構築



#### ➢ 初期投資も必要

安全設備等公開に必要な施設整備については公開に先立ち初期費用を確保する必要

# 灯台の映画等での活用について

- 映画等のロケ地や作品に登場する灯台のモデルになったとされる灯台は全国に存在。
- 映画等の撮影場所の誘致や撮影支援を行っているフィルムコミッションがロケーションとして紹介されている灯台も存在。

## ◆映画のロケ地等として活用された主な灯台

作品	ロケ地やモデルになったとされる灯台
映画「嘘を愛する女」 (2018年)	ウズ鼻灯台 (愛媛県今治市) 大下島灯台 (愛媛県今治市) アゴノ鼻灯台 (愛媛県今治市) 今治港東防波堤灯台 (愛媛県今治市)
映画「青夏」 (2018年)	大王埼灯台 (三重県志摩市)
映画「悪人」 (2010年)	大瀬埼灯台 (長崎県五島市)
映画「ハナミズキ」 (2010年)	湯沸岬灯台 (北海道厚岸郡浜中町)
ミュージックビデオ「会いたかった」 (2006年)	洲埼灯台 (千葉県館山市)
JAL 先得CM (2017年)	能取岬灯台 (北海道網走市)
アニメ映画「打ち上げ花火、下から見るか？横から見るか？」 (2017年)	犬吠埼灯台 (千葉県銚子市) 飯岡灯台 (千葉県旭市)

撮影のロケーションとして紹介されている灯台 → (長崎旅ネットより)

The screenshot shows the Nagasaki Travel Network website. The main heading is "ながasaki 旅ネット". Below the navigation bar, there is a search bar with the text "旅のテーマ・エリア・キーワードから探す". A featured section titled "映像制作者向けロケハンモデルコース「灯台編」" (Video Producer Lighthouse Model Course) is highlighted. It includes a "Point" section with a red button "印刷する" (Print). A red dashed box contains text: "長崎県内で撮影される作品のロケ支援を行う 長崎県フィルムコミッション がおすすめする、映像制作者の方向けのロケハンモデルコース「灯台編」をつくりました！" and "「灯台」などがキーワードの映画・ドラマ・TV-CMなどの作品のロケ地を探されている映像制作者の方必見！長崎県内のロケ地探しに、ぜひお役立てください。" Below this, there is contact information for the Nagasaki Film Commission and a link to a national location search site. At the bottom, a "掲載のスポットはこちら" (Featured spots here) section displays a carousel of seven lighthouse spots with numbered labels: 1. 伊王島灯台, 2. 伊王島灯台記念..., 3. 樺島灯台公園, 4. 大瀬埼灯台, 5. 津和崎灯台・樺..., 6. 野方海岸 (対馬...), 7. 大八工灯台.